

事業概要【やまなしスマート林業推進事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,038千円（10,724千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・本県の充実した森林資源を有効活用した林業の成長産業化と若者や女性にとって魅力ある林業の実現のため、ICTの導入によるデジタル技術を活用したスマート林業を推進し、林業の生産性・収益性・安全性の向上を図るものである。</p> <p>・「スマート林業」は、林業経営体、木材加工事業者、流通事業者といった幅広い業界が関連する先進的な取り組みであり、県が主体となり、プラットフォームの整備、森林情報のクラウド化、デジタル森林情報の整備、新たな森林整備手法のモデル実施・普及により、スマート林業の初期段階の立ち上げを行う。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <p>○本県の充実した森林資源を有効活用した林業の成長産業化と若者や女性にとって魅力ある林業の実現のため、ICTの導入によるデジタル技術を活用したスマート林業を推進し、林業の生産性・収益性・安全性の向上を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <p>・県が保有する森林資源情報、市町村が保有する森林所有者情報、製材工場等が保有する木材需要情報を一元管理し、情報共有する基盤として県森林情報管理システムをクラウド化することで、森林の適正な経営管理、木材生産量の増大を図る。（委託料） 10,724千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①木材生産量（+44.00千m³メートル）</p> <p>②林業の新規就業者数（+6人）</p> <p>③モデル地区における木材生産性（+1.20m³/人日）</p> <p>④県が主体となってモデル的にデジタル森林情報の整備を行う地区数（+4地区/年）</p>	関連URL	山梨県公式ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/

事業概要【地場産業や地域資源を活用した関係人口創出・拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	64,264千円（24,045千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>移住した「定住人口」でもなく、観光できた「交流人口」でもない、山梨県に居住していないものの、地域との継続的な関わりがある人という「関係人口」の考え方に重点を置きながら、関係人口へのステップを低くしその裾野を緩やかに広げるため、地域との繋がりを新たに創出し、継続的な関心や直接的な訪問・交流に結びつく取り組みを推進し、将来的な移住者の増加につなげる。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○新たな時代の信玄公祭り実現を目指すため、祭りのコンセプトに沿った魅力のあるサイドイベントを実施し、国内外への戦略的なPRを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（補助金） 5,000千円 <p>○富士山一周ルート（NCR）の登録に向けた自転車環境向上の取り組み等を進めるサイクルツーリズムを推進し、世界遺産富士山の麓を周遊する富士山一周ルートについて、山梨、静岡両県が中心となり民間団体と連携する官民協働の協議会を設立し、ナショナルサイクルルートNCR登録に向けたロゴマーク作成やサイクリストを引きつける魅力あるサイクリング環境（走行環境・受入環境）の創出、イベント開催、情報発信等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（報償費、旅費、食料費、委託料、使賃料、負担金） 187千円 <p>○就農希望者の掘り起こしに向け、情報発信に加え、長期農業研修につながるステップとして、都市住民を対象とした本県の農業を身近に感じてもらうツアーや、オンラインイベントの開催、年間随時受け入れ可能な農業体験を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（委託料、報償費、旅費、需用費） 10,756千円 <p>○本県で開催される国際宝飾展の会期中におけるジュエリー産地プロモーションの取り組みに対して支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（補助金） 1,993千円 <p>○郷土学習コンクールの実施や事業成果を広めるための郷土学習実践研究発表大会の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（報償費、委員講師旅費・需用費） 120千円 		
KPI	<p>①10代・20代の観光入込客数（+45千人）</p> <p>②観光消費額（+322億円）</p> <p>③富士山一周ルートの主要な国道、県道における自転車通行台数（+90台）</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>山梨県公式ホームページ</p> <p>https://www.pref.yamanashi.jp/</p>

事業概要【多様性が強みとなる共生社会・誰一人取り残されないデジタル共生社会実現推進事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	236,878千円 (82,774千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野

目的（効果）
 「誰も取り残されない、人に優しいデジタル化」の考えのもとデジタル技術を活用した共生支援の体制を整備し、誰もが個性や能力を活かし、地域コミュニティの一員として活躍できる「多様性が強みとなる共生社会」の実現を図るため、共生社会がもたらす効果や多様性尊重の重要性を県民一人ひとりが当事者意識を持ちながら理解するとともに、本県が多種多様な人材が集う場になるよう、共生社会の実現に関する取り組みを実施する。

事業概要・主な経費

- ・「やまなし外国人活躍ビジョン」のフォローアップ、検証・改定など取組全般に係る情報収集及び意見交換等を行うとともに、官民の関係機関の連携体制を構築する。（委員報償費、委員旅費、需用費） 243千円
- ・外国人留学生在が本県で就職するにあたり必要となる基本情報や企業情報を掲載したポータルサイト等の保守運用を行い、外国人留学生の県内への就職及び県内企業の人材確保に向けた取組を支援する。（委託料） 423千円
- ・県内企業と留学生（県内外）の交流会や企業説明会を行う外国人留学生合同就職フェアや日本での就職活動やインターシップに関する知識を習得するガイダンス等を開催。（委託料） 2,308千円
- ・官民の関係団体・企業等を全県的にネットワーク化し適正な労働環境の整備に向けた機運の醸成を図る「やまなし外国人労働環境適正化ネットワーク」を設置。（報償費、旅費、使賃料） 141千円
- ・外国人が安心して暮らせる環境づくりのために、地域で相談対応や情報提供等を行う外国人地域生活サポーターを設置する。また、サポーター研修会を開催する。（需用費、委託料） 2,243千円
- ・外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の形成に向けて、県民の意識啓発等を推進するため、やさしい日本語講習や異文化理解・多文化交流事業の実施やホームページ運営を通じた情報発信を行う。（委託料） 1,001千円
- ・災害時も在住外国人や外国人観光客が安心できるよう、災害時外国人支援情報コーディネーターを育成するほか、外国人向け防災訓練や外国人支援者向けセミナーを実施する。（委託料） 445千円
- ・職業能力開発短期大学校を卒業した留学生は在留資格が取得できることから、本県産業の人材の確保・育成を図るため、留学生受け入れを促進するため留学生向け進学説明会や情報誌への掲載及び留学生向け日本語補講を行う。（委託料・使用料および使賃料） 1,328千円
- ・本県の共生社会化を推進していくため、県民の意識啓発に向けた、シンポジウム・若年層等を対象にしたワークショップの開催、県内の共生社会のロールモデルを広くPRする普及啓発冊子の作成をする。（報償費、旅費、需用費、使賃料） 2,856千円
- ・企業と福祉のマッチング体制強化のため、障害者就労支援施設と企業とのマッチングを行う産福連携コーディネーターの設置や展示会等への出展を行う。（委託料） 10,287千円
- ・高齢者の活躍の機会を創出するため、高齢者雇用を検討している企業担当者や就労意欲のある高齢者を対象に、高齢者雇用に積極的な県内企業を訪問する職場見学会を実施する。（委託料） 1,672千円
- ・性的指向やジェンダーアイデンティティに関わらず、誰もが個性と能力を発揮できる、多様性を尊重する社会の実現に向け、理解の促進と普及啓発を図る取り組み（研修会等）を実施する。（報償費、旅費、需用費、委託料、使賃料） 988千円
- ・誰もが身近な場所でパラスポーツを楽しめる環境を整備し、障害者の活力ある生活結びつけ、共生社会を実現する。（報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使賃料、補助金） 4,120千円
- ・デジタルに関心のある中学生に対し、学ぶ・実装・フィードバックのサイクルを経験するプログラミング体験を提供する。（委託料） 11,409千円
- ・学内で学んだスキルを応用し、実際の地域課題の解決を図るクリエイティブな課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）を開催する。（委託料） 43,310千円

※経費内訳はR7年度事業費

KPI	①県内大学等の留学生の県内就職率（+6%） ②高校進学ガイダンスに参加した外国人生徒の数（+30人） ③企業と障害者就労施設のマッチング件数（+90件） ④PBLプログラムを受講した子供たちのうち、身に付けたデジタルスキルを活用して自分に関わりのある地域の課題を自分の力で解決したいと考えている人数割合（+90%）	関連URL	山梨県公式ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【デジタルトランスフォーメーションによる山梨スタートアップ支援事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	366,909千円（170,591千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	学生から社会人までを対象にDX人材の育成を図り、本県の地域産業が必要としているDX人材を確保し、中核的な人材としての活躍を促すとともに、スタートアップの育成・誘致・定着を図ることでスタートアップなどの魅力的な仕事や憧れとなる職場等が増やし、新たな雇用を創出し、産業の高付加価値化・地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生等を対象としたデジタルスキルを獲得する研修を実施。（委託料）64,048千円 ○官民の保有するデータを流通させ、利活用しやすい環境を提供。（委託料）6,560千円 ○空飛ぶクルマのビジネスモデルの検討・検証（実証実験）を行うとともに、社会受容性向上を目的としたイベントを開催。（委託料、使賃料、委員旅費、役務費、報償費）17,780千円 ○次世代を担うスタートアップ企業の誘致を図るため、スタートアップ企業や企業を志す者が集積する拠点において、シード期のスタートアップ企業やその予備軍に対して誘致を図る。（委託料、負担金：負担先QWS、CIC Tokyo、NEXsTokyo）7,436千円 ○県内企業と共創するスタートアップ企業を募集し、オープンイノベーションの専門家が伴走支援を行うプログラムを実施。（委託料）13,200千円 ○事業承継期の後継者に対して体系的に経営知識を習得する機会や後継者同士のネットワークを形成する機会を提供することで、後継者の自己変革を促し、事業承継期の企業成長を加速化（委託料）5,305千円 ○革新的なスタートアップ企業を創出、支援するための支援拠点を運営（委託料）21,482千円 ○リニア中央新幹線開業時を見据え、県内交通ネットワーク再編のエビデンスとなる人流データを取得、分析、公開することで、モビリティ系スタートアップの参入環境を整備（委託料、委員旅費、報償費）25,780千円 ○県内外の大学及び国立研究所等の研究機関の有望な研究シーズ、大学発スタートアップ等の発掘、事業化を支援し、県内企業とのマッチングおよび研究の事業化を通して、県内経済の活性化（委託料）9,000千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 県内企業の付加価値額（+45,000百万円） ② DXマインド醸成講座受講者の内、DXに向けた行動を起こすと意識変化があった受講者の割合（+90%） ③ 県内企業と県外スタートアップ企業のオープンイノベーション取り組み件数（+15件） ④ 社会受容性向上イベント参加者数（+600人） 	関連URL	山梨県公式ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【DX人材育成エコシステム創出事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	512,099千円 (19,066千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI技術を活用し、中小企業等がDXのための具体的な行動(要件仕様定義・外注等)に至る枠組みを提供 県内大学生をDX人材として育成・DX推進の担い手にすることで、DX実現上の資源(ヒト・カネ)面の課題を解消 県内企業のDX推進の加速／将来的なDX人材の育成・供給のための自発的な循環サイクルの構築 若手人材を中心とした将来の地域リーダーの養成と、地域での成功体験・魅力再発見による大学生の県内定着 		
事業概要・ 主な経費	<p>① 生成AIを活用したDX推進支援プラットフォーム「山梨Creative Cloud Service (以下「山梨CCS」という。)」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局運営(委託料) 25,344千円 システム運用(委託料)19,605千円 取組1：生成AIを用いた仕様書生成機構の構築 (委託料) 85,800千円 取組2：中小企業DX-PBLや山梨CCSにおける「DX成果事例」を収集・表彰 (委託料) 11,882千円 <p>② 山梨県内DX人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組1：県内商工会へのDX技術の啓蒙による山梨CCS活用の下地作り (委託料) 10,617千円 取組2：県内大学生のDXリテラシーの修得 (委託料) 33,612千円 取組3：中小企業等のDX課題解決を担える県内大学生の育成 (委託料) 12,206千円 		
KPI	<p>①山梨CCSを通じたDX支援案件数 (+279件)</p> <p>②中小企業等のDX取り組み支援が可能な人材数 (+84人)</p> <p>③地域における新規雇用者数(※) (+52人)</p> <p>※県内大学生等の県内企業への新規就業者数</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/sogokeikaku/shin-sougoukeikaku.html (P.147 4 DX人材育成エコシステムの形成)</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【「美酒・美食王国やまなし」建国プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	301,371千円 (98,276千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・本県は全国に誇れる落葉果樹の産地として発展し、生産量日本一のぶどう、もも、すももをはじめ、おうとう、かき等の様々な果樹が生産されている。 ・果樹をはじめとした県産食材の魅力を観光分野においても最大限に活用するため、本事業を通じて、「美酒・美食」をテーマに農業振興⇔観光振興の好循環実現を目指す。 		
事業概要・ 主な経費	<p>【「美酒」に関する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美酒美県やまなしテロワール確立事業（委託料）26,163千円 ○山梨有機ワイン推進事業（委託料）846千円 <p>【「美食」に関する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データ農業技術確立・普及事業（報償費、需用費、委託料）5,419千円 ○「やまなし野菜」産地強化事業（補助金）1,500千円 ○新規就農者育成支援事業（補助金）14,986千円 ○グルマン・エコミー会議（仮称）推進事業（報償費、旅費、需用費、委託料、使賃料）5,523千円 ○食材コーディネーターを活用した流通活性化事業（委託料）8,300千円 ○若手シェフ誘致推進事業（委託料）10,354千円 ○やまなしスイーツブランド化推進事業（報酬、旅費、委託料）7,397千円 ○インバウンド観光プロモーション事業（委託料、負担金）17,788千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（県産農産物出荷額）（+155.31億円） ②観光入込客数（+5,446千人） ③甲州ワイン・日本酒の年間輸出量（+102KI） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>山梨県公式ホームページ</p> <p>https://www.pref.yamanashi.jp/</p>

事業概要【デジタル人材育成・職場環境整備促進プロジェクト事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,206千円（11,402千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少の深刻化によって生じる労働力不足、特にデジタル分野の人材不足が課題。 働きたくても十分に働けていない潜在的な労働力である女性を掘り起こし、女性のデジタル分野におけるスキルアップやリスキングを後押しするとともに、働きやすい雇用環境の整備を支援することで、女性の労働参画を促し、労働市場全体の生産性向上や労働供給の増加を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○デジタル人材育成・就労支援事業 時間や場所に制限されないオンラインによるデジタルスキルを習得する研修プログラムを実施し、修了者に対してキャリア相談や希望する就労形態の就労機会を提供する就労支援を行う。（委託料）11,402千円</p> <p>○男性育児休業取得促進事業 国の両立支援等助成金の受給要件である男性従業員が育児休業を取得しやすい雇用環境を整備する県内中小企業に対して支援する事業を実施する。（補助金）※別財源で事業執行</p> <p>○「豊かさ共創社会」実現のための連携体制構築 キャリア形成期の働く者のスキルアップ志向を満ちし、産業界のニーズに即した実践的なキャパシティビルディングやリスキングが可能となる環境を整備する。（補助金）※別財源で事業執行</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における人口一人当たりの労働生産性（+653千円） ②県内人口の転出超過数（20歳～49歳）（▲605人） ③豊かさ共創スリーアップ推進協議会参加企業数（+600社） ④厚生労働省の「両立支援等助成金 出生時両立支援コース」（1人目）の申請企業数（+45件） 	関連URL	https://www.pref.yamanashi.jp/index.html


事業概要【牛石地区企業誘致事業】

申請者	山梨県、都留市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	773,000千円 (291,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	✓	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	都留市牛石地区における企業誘致事業において、地域の特性を活用することで、高い付加価値を創出し雇用を生み出すとともに継続的な地域内経済の好循環を目指している。また、企業誘致予定地から中央自動車道にかかる都留ICへのアクセス道路を整備することで地域内外の交流・連携による地域の自立・活性化及び交通快適性を向上させる活力あるまちづくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 都留市では、市が掲げる将来像「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち・つる」の実現に向け、企業誘致による新たな産業や雇用を創出するため工業団地の整備を計画し、併せて地場産業の振興を図る。これに合わせた拠点整備事業、インフラ整備事業及びソフト事業を山梨県と連携し展開するものである。</p> <p>【インフラ整備事業】 都留ICから工業団地へのアクセス道路における道路改良事業 (一) 高畑谷村停車場線 交差点改良 (山梨県) ・設計費 10,000千円 (市) 栄町長者町線支線3号道路改良 (都留市) ・工事費 281,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	工業団地の立地企業に、UIターン者等を積極的に採用してもらうことで事業の継続・拡大を図る。 市内教育機関においては、立地企業への人材支援を行い、また、学生に対しては、奨学金の返還補助等を市へ働きかける等支援を行えるよう連携を図る。					KPI	①企業誘致件数 (+3件) ②企業誘致による新規雇用者数 (+100人)



※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【やまなしGXエコシステム推進事業】

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	304,419千円 (145,055千円)
経費の種類	ソフト 事業	レ	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>本県の中小企業とその支援団体がGXを促進していく好循環（エコシステム）を構築し、経営強靱化を図る。本県が強みを有する水素製造を、関連産業の集積や活用につなげ地域の収益力を向上させる。主要産業である農業と水素を組み合わせ、高付加価値化を図る。 →これらの取り組みにより、脱炭素化と本県経済の活性化の同時達成を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 中小企業のGX促進に向けた体制づくり、水素社会の実現に向けた戦略策定、水素加温機の導入実証に取り組み、本県の脱炭素、高付加価値化の推進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 OGXエコシステム構築に関する事業 ・支援機関の人材育成(委託料) 16,942千円 ・支援体制の整備(委託料) 16,536千円 ・インセンティブとなる仕組みづくり(委託料) 13,778千円 ○やまなし水素社会実現戦略策定に関する事業 ・戦略作成支援(委託料) 49,071千円 ○カーボンフリー農業における水素加温機の導入実証 ・水素燃料費等 5,844千円 ・施設整備費 42,884千円</p>					<p>○中小企業のGX化促進 ・企業とその支援団体がGXを推進していく仕組みを構築・人材育成 →好循環（エコシステム）の形成</p> <p>○本県の水素製造の強みを活用 ・水素社会に向けた戦略の策定 ・カーボンフリー農業に向けた取り組み →産業の集積・高付加価値化</p> <p style="text-align: center;">⇓</p> <p>本県の脱炭素化と経済の活性化を同時に実現</p> <p>(参考) 山梨県はグリーン水素製造のトップランナー</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>山梨県・米倉山電力貯蔵技術研究サイト</p>  <p>→水素利活用による脱炭素化や産業の高付加価値化へと展開</p> </div>	
地域の多様な 主体の参画	<p>中小企業のGX促進、水素社会の実現に向けた取り組み、水素加温機の導入実証それぞれについて、大学や金融機関、民間企業、商工農業団体をはじめとした各団体と連携し、意見を聴取しながら、事業の改善に反映していく。</p>					KPI	<p>①地域における新規雇用者数 (+48人)</p> <p>②GX支援案件数 (+262件)</p> <p>③GX支援人材育成数 (+310人)</p> <p>④水素・燃料電池関連産業参入企業数 (+30件)</p> <p>⑤水素加温機によるCO2削減量 (▲16.6t-CO2)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【地域を核とした持続可能な観光地・山梨の創出】

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	360,149千円 (72,973千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業者や地元自治体がユニバーサルツーリズム（以下、「UT」）の受入環境を整備し、その情報発信によりUTを推進することで、宿泊日数の増加や長期滞在による消費拡大を図る。 既存の道の駅を地域の魅力や価値を体感できるショーウィンドウとし、この特別な道の駅「フラッグシップ道の駅」を各エリアに設定し、核として、エリア各地への人流の促進や来県者の消費拡大を図る。 						
事業概要・主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>○UT推進事業：事業者や地元自治体の機運醸成を図るとともに、受入環境の整備方針の検討及び環境整備や情報発信の支援を実施する。</p> <p>○「フラッグシップ道の駅」推進事業：地域の個性を際立たせた「道の駅フラッグシップ化」を推進し、この特別な道の駅を核に地域資源の魅力を発信する取り組みを行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○UT推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発セミナーの開催（2回）（1,154千円） 推進検討会議の開催（3回）（250千円） プロモーション用素材作成（1,450千円） <p>○「フラッグシップ道の駅」推進事業</p> <p>① 峡南地域「道の駅富士川」</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1弾フラッグシップ道の駅におけるモデルツアー造成、情報発信、EC販売の検討に向けた調査・検証業務（60,000千円） 検討会実施（255千円）・企画提案公募審査会開催（40千円） <p>② 東部地域「道の駅つる」</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2弾フラッグシップ化に向けた構想案策定、情報発信のための地域資源等の調査（9,529千円） 企画提案公募審査会開催（40千円）・検討会運営（255千円） 					 <p>誰もが安心して旅行できる受入環境の整備</p>  <p>道の駅のフラッグシップ化</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>○UT推進事業：専門家や観光事業者、医療・介護事業者、地元自治体等の意見を集約し、事業を推進する。</p> <p>○「フラッグシップ道の駅」推進事業：道の駅指定管理者や住民団体、大学等をメンバーとした検討会にて地域住民や若者の視点から意見を吸い上げ、事業内容の反映に取り組む。</p>					KPI	<p>① 観光消費額（+1,825億円）</p> <p>② 延べ宿泊者数（+1,734千人）</p> <p>③ UTに取り組む事業者数（+70者）</p> <p>④ 観光入込客数（峡南圏域）（+307千人）</p> <p>⑤ 観光入込客数（東部圏域）（+690千人）</p>
※経費内訳はR7年度事業費						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【山梨県地場産業グローバルチャレンジ・人材育成支援事業】

申請者	山梨県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	195,654千円 (74,920千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 顕在化しているチャンスの獲得：インバウンド需要の増加、海外展開の容易化 弱点の克服：グローバルな視点や経験を活かし、地域や地方の活性化、発展に貢献することができるグローバル人材の育成、地場産業分野におけるDXの効果活用 <p>→事業の実施により、課題の解決と産地における自らの課題に取り組む人材を育成。新規事業化や海外需要拡大に繋げ、地場産業従業者数の維持・増加を目的とする。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 上記の顕在化しているチャンスを獲得し、弱点を克服するため、各種補助事業等を実施する。また、事業をととして課題解決に取り組む人材を育成する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山梨県地場産業チャレンジ支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県地場産業チャレンジ支援補助金（補助金）4,500千円 ・地場産業人材育成促進事業（地場産業職人留学支援小学生）（補助金）12,500千円 ○ジュエリー産地山梨高度人材養成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・一流ジュエラーによるプロフェッショナル向け実習講座（報償費等1,493千円） ○ジュエリークリエイター発信事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・ジュエリー職人発信力強化プロデュース事業（委託費）2,500千円 ○G I 山梨・日本酒ブランドリニューアル・海外展開人材育成事業 ブランドリニューアル支援事業費、海外展開人材育成支援事業（補助金）：6,500千円 ○郡内織物アジア販路確立支援事業費 アジア圏の展示会等への出展（補助金）：2,000千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>地域の経済団体、金融機関及び学識経験者等からは、それぞれの視点からの助言、ネットワークを活かした事業の周知、現場に意見の拾い上げ等について協力を求める。合わせて、各主体が主催するイベント等においても目的達成のため協働していく。また、若者、地方創生系インフルエンサーには、事業者が取り組む事業に関する情報発信や、計画全体への助言等を求めていく。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①評価対象地場産業の従業者数（指標年を2022年の従業者数を上回る人数（+100人）） ②育成の成果としての商談件数（+1,956件） ③人材育成の人数（デジタルを活用し、海外需要開拓に取り組んだ人数）（+192人） ④人材育成の人数（各事業の総計）（+748人）

※経費内訳はR7年度事業費

Local Craftmanship * Global Challenge
地場産業×グローバル人材を育む

学び 交流 DX 創造 発信
山梨の自然環境・歴史文化・伝統技術

Exclusive Luxury Craft
from YAMANASHI

世界に求められる価値を提供できる
グローバル人材が活躍する山梨へ

※カッコ内の数値は最
終事業年度までの
「KPI増加分の累計」の
目標値




事業概要【地域の特色を活かした成長産業推進事業】

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	131,798千円 (33,066千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	安定的な成長が見込まれる分野への参入を促進し、高付加価値で安定的な事業展開を図ることにより、エネルギー、食料品、原材料価格高騰など地域経済が取り巻く情勢が厳しい場合でも、経済活動に支障が生じないよう、しなやかに対応できる経済基盤を構築する。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 今後、安定的な成長が見込まれている医療機器、水素・燃料電池、航空・宇宙・防衛分野への参入促進や事業の収益化を進める。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器・デバイス・コリドー創生事業 <ul style="list-style-type: none"> ・両県連携展示会・マッチングイベント開催費(補助金) 4,507千円 ・展示会 (Japan Health) 出展費(補助金)2,478千円 ○水素・燃料電池分野基幹産業化推進事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・水素供給インフラ周辺ビジネスへの参入支援人材養成講座の開催費(委託料)3,285千円 ○航空宇宙防衛関連産業参入支援事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・支援窓口の設置事業費(補助金)9,796千円 						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会連合会や商工会議所連合会に補助金獲得支援や事業の周知を行って貰う。</p> <p>他県と連携し、情報共有やイベントの共同開催、共同開発を行う。また、定期会議を行い、事業内容に反映していく。</p> <p>地元大学と連携し、新分野進出を目指す人材養成講座を開催する。</p> <p>金融機関による金融支援・経営相談を通じて、安定的な事業展開を実現する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①医療機器関連産業に関する支援企業商談件数 (+384件) ②米国展開事業に参加する企業 (+15社) ③水素・燃料電池関連産業への参入企業数 (+5社) ④航空宇宙防衛関連産業に関する支援企業商談件数 (+180件)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【ソーシャルイノベーション創出事業】

申請者	山梨県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	71,679千円 (23,973千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 県と民間金融機関が連携し、新たな官民連携を推進する法人「一般社団法人やまなしソーシャルイノベーションセンター」を設立し、出資や伴走支援を通じて地域課題の解決と持続的な経済循環を実現させる 地域課題解決に取り組む民間事業者に対し、多様な関係機関が連携して伴走支援を行う体制「新事業共創プラットフォーム」を整備し、幅広い分野での事業創出を通じて雇用創出や地域経済の活性化を図る。 					
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要・主な経費】</p> <p>○やまなし官民連携イノベーションセンター（仮称）設置事業費補助金 山梨県の地域課題解決を図るため、県と民間金融機関が連携し、新たな官民連携を推進する一般社団法人を設立。当該一般社団法人の運営に係る費用の助成等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立にかかる諸経費 120千円 ・運営費（補助金）23,853千円 <p>○新事業共創プラットフォーム運営事業費（県単独事業） 幅広い分野での事業創出を促進するため、多様な関係機関が連携して伴走支援を行う体制を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン相談窓口の運営費（委託） 1,957千円 ・プラットフォーム構築・運営費（委託） 11,667千円 ・委託業務審査会経費（報償費） 21千円 					
地域の多様な主体の参画	<p>（一社）やまなしソーシャルイノベーションセンターにおいて、地域金融機関に本法人の社員として参画をもらい、ノウハウやリソースを活かすことで、地域課題解決に向けた取り組みを効果的に推進していく。</p> <p>また、新事業共創プラットフォームにおいて、経済団体や大学、金融機関などから構成される定期的な会議において意見交換等を行い、県内で新事業に挑戦する相談者のビジネスプラン等をブラッシュアップし、適切な支援リソースに繋ぐなどの伴走支援を実施する。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①山梨県内の就職件数 (+138件) ②山梨県内の事業所数 (+208件) ③官民共創で支援するプロジェクト数 (+9件) ④新事業共創プラットフォームで支援する企業数 (+45件)

事業概要【河口湖畔の観光拠点施設や周辺道路の環境整備による観光振興事業】


申請者	山梨県、富士河口湖町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,502,210千円 (137,210千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 河口湖畔の「大石公園」や「八木崎公園」の混雑解消を目的とした駐車場やトイレを再整備し、インバウンド観光客等の受入環境を再整備する。 観光施設へのアクセス向上や観光客に人気の河口湖畔周遊サイクリングの環境改善のための周辺の道路拡幅事業を実施し、地域の高付加価値化と持続可能な観光地域づくりを進める。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 観光動向調査によりインバウンド観光客のニーズを把握するとともに、受入環境の整備のため、人気の観光施設「大石公園」・「八木崎公園」の再整備やサイクルツーリズム向上のための道路拡幅事業を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 インバウンド観光客の観光動向調査 ・調査費1,210千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 大石公園の駐車場やトイレを再整備 ・施設設計費 6,000千円 八木崎公園の駐車場整備 ・施設設計費 3,000千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】 観光拠点施設周辺の県道河口湖精進線の現道改築・拡幅事業 ・工事請負費 120,000千円 町道1088号線及び1089号線の矢羽根・ピクトグラム設置事業 ・工事請負費 7,000千円</p>					  	
地域の多様な 主体の参画	町と観光協会の共催のイベントを開催し、知名度アップと観光客の増加等につなげるとともに、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、受入環境のさらなる向上に取り組む。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①観光消費額単価（宿泊外国人） （+4,804円） ②観光入込客数 （+45万人）

事業概要【道の駅富士吉田リニューアルを中心とした地域創生事業】

申請者	山梨県富士吉田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,977,455千円 (770,793千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	世界文化遺産「富士山」とその構成資産をはじめとする数々の魅力的な地域資源を持つ本市において、観光周遊性の不足と道の駅の機能限界、来訪者の観光消費の不足という課題の解決のため、多くの誘客に耐えうるキャパシティを持ち域内の玄関口として交通の便が優れている「道の駅富士吉田」の高いハブ機能に着目し、リニューアルを行い、現行の施策との相乗効果を生み出す拠点とすることで市内回遊性を向上させるとともに、道の駅そのものの魅力向上を図り更なる誘客を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 道の駅富士吉田新築棟の整備を実施するとともに、ソフト事業として、地場産品を活用した商品開発、体験型観光の充実、PR・プロモーションの強化、インフラ整備として、駐車場や自転車道の整備を行い、市内回遊性・観光消費促進・魅力発信力向上を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品を使った商品開発 5,000千円 ・地域の魅力発信パッケージデザイン等の導入 5,000千円 ・体験コンテンツの造成 5,000千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハブ機能の強化により、域内全域への回遊性を高めるとともに、富士山の展望や地場産品を堪能できる拠点整備 744,793千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅のハブ機能を高める自転車通行空間整備 11,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	地域住民の関係性構築に繋がるイベントを開催し、利用者の増加等につなげる。また、郷土愛醸成を軸に学生を支援するNPO法人や自治会と連携し、若者や地元利用者目線に立った意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+266億円) ②道の駅富士吉田施設利用者数 (+1,139千人) ③道の駅富士吉田の売上額 (+454,735千円) ④体験コンテンツ造成数 (+35個)

事業概要【都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を通じた地域課題解決人材育成事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県都留市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	105,272（16,316千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習塾を創設し「自ら学び自ら考える」力を育成し地域課題を解決する人材の育成を行う ・現役世代を対象として市民大学創設し地域での起業マインドの形成、現役世代のデジタル社会形成への寄与につなげる ・生涯学習環境の充実に伴うデジタル人材育成を行う 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「一般社団法人都留まなびの未来づくり推進機構」に委託し、「自ら学び自ら考える」思考を育成する「探究型学習」プログラムや、保護者や保育・学校の指導者向けの指導ノウハウを育むプログラムを提供する。また、市内企業人材やセカンドキャリアを対象としたCSR、SDGs、ESG等の理念に基づく生涯学習プログラムも提供する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習プログラム事業（委託料） 15,730千円 ・生涯学習プログラム事業（講師旅費） 50千円 ・生涯学習プログラム事業（講師謝礼） 378千円 ・生涯学習プログラム事業（需用費） 158千円 		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①都留文科大学卒業生の市内定着率（+3.70%） ②この事業を通して創出した雇用数（+59人） ③この事業を通じて創出したデジタル人材育成数（+13,190人） ④この事業を通して創出した関係人口数（+3,080人） 		関連URL
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku_t/manabinomirai/index.html https://tsurulabo.jp/ https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/shougaiakushuu/shogaigakusyu_t/sirius_college/index.html https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku_t/koufukin/13444.html

事業概要【大学を核としたまちづくりの推進に向けた都留文科大学魅力度向上プロジェクト】

申請者	山梨県都留市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,717,630千円 (330,978千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 都留市は市民の9人に1人が都留文科大学学生であり、大学が地方創生を進めていくには必要不可欠である。 地域住民も使用しやすい施設に改修するとともに、学生が卒業後も都留市に定着するためのソフト事業を行う。 地域に拓けた大学としての機能を強化し、大学施設の充実を図る。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 拠点整備事業として、市民等が利用可能な各種教室やラーニングコモンズといったオープンスペースを整備し、地域に拓けた大学としての機能を強化する。また、ゼミ室や多目的教室、コンビニエンスストアなどもあわせて整備することで、大学施設の充実を図る。ソフト事業として、当事業の目的である地域の人口を増やす取組として子育て世代をターゲットとした保育の充実や探究学習プログラムの整備を行い、地域活動の交流機会や起業支援、本市の人口増加の実現等を図る。 ※探究学習や地域活動、起業支援等は2年目以降に実施</p> <p>【主な拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物本体工事 322,723千円 建築物と不可分な設備工事 197,797千円 <p>【主なソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力度向上のための戦略的な広報活動 8,515千円 英語学習環境の構築事業 4,946千円 				 <p>外観イメージ</p>  <p>ラウンジ</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>若年層の定住人口の増加や地域経済の担い手を確保するため、市内をはじめとする地元企業や本市が地方創生の一環として進める企業誘致による業者を対象としたセミナーを開催し、地元企業と大学生及び地元の若者の就業に向けたマッチングを支援する。 地方創生の取組の本格的スタートに合わせ、「教育首都つる」を標榜する本市において、立地する3つの高等教育機関と市で設立した「大学コンソーシアムつる」の機能強化を図る。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数 (+345人) ②都留文科大学学生の魅力度向上 (+1.4%) ③都留文科大学学生の地域貢献活動 (+36%) ④都留文科大学卒業生の市内定着率 (+5.5%) 	

事業概要【地域ブランディング推進事業】

申請者	山梨県山梨市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,925千円 (10,610千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 本市の魅力を整理した上でブランドメッセージを作成し、他地域との差別化すべき内容を明確にした上で戦略的な情報発信を行い「選ばれるまちづくり」を目指す。 シビックプライド醸成に向けたワークショップや市民参加型の情報発信を行うことで、若年層の地域への参加・推奨・感謝意欲を高め、本市に関わり根差す人を増やす。 						
事業概要・ 主な経費	<p>(事業概要) 情報受信者視点に立った新たな情報発信手法の確立による戦略性を持った情報発信や本市の独自性を表す「ワイン特区」の普及促進活動、また住民等が市の魅力を整理発信してもらうためのシビックプライド醸成事業に取り組む。</p> <p>(主な経費) 【ソフト事業経費】 ○情報発信力強化事業 ・山梨市地域ブランディング戦略(仮)策定経費(委託料)：8,000千円 ・デジタルマーケティング基礎研修(委託料)：2,000千円 ○ワイン特区推進事業 ・首都圏PR活動：610千円</p>					 <p>西沢渓谷 七ツ釜五段の滝</p>  <p>笛吹川フルーツ公園 (新日本三大夜景)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>市内小中学校等、地域おこし協力隊等と共同で地域の魅力を再発見するワークショップ等を開催し地域内での連携を促進する。 抽出した意見等は、事業内容へ反映するほか、庁内推進本部で共有し、全庁的な取り組みに生かす。</p>					KPI	<p>①純転入者数 (+9人) ②20~30代の市民の地元愛着度 (+3%) ③シティブロモーションサイト閲覧数 (+500件) ④地域参画に繋がるワークショップ・講習参加者数 (+30人)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【笛吹川フルーツ公園周辺地域整備事業】


申請者	山梨県、山梨県山梨市				初回採択回	令和7年度第2回募集		
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	213,500千円 (22,500千円)		
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	✓	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<p>・果樹生産の振興拠点・情報発信地、観光拠点である笛吹川フルーツ公園及び公園周辺地域において、更なる付加価値を高め、観光客に上質な価値を提供して高い収益を上げる「高付加価値型の観光産業」への進化を促進し、次の世代が「このまちで働きたい・暮らしたい」と思えるような地域の創出に取り組む。</p>							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 県内有数の観光拠点である「笛吹川フルーツ公園」及び周辺地域において、桜の植樹及び公園施設の整備を行い、本地域における観光拠点としての更なる付加価値を高めるため、春先における誘客向上を中心に年間の集客を増加させるような新たな観光コンテンツとしての桜等の遊歩道整備を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 地域における「花とフルーツ」のまち創出に係る合意形成及び理解促進を図るためのイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植樹を行う苗の購入及びイベントの開催 500千円 ・桜植樹用苗の購入 1,000千円 <p>【拠点整備事業経費】 公園内及び近隣道路沿道への桜等遊歩道整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園周辺施設への桜植樹に係る土壌下地整備 1,000千円 <p>【インフラ整備事業経費】 笛吹川フルーツ公園の魅力向上のための公園施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設設計 20,000千円 							
地域の多様な 主体の参画	<p>市民等によるボランティア団体を組織し、桜の植樹及び維持等に係る作業を行う。 地域おこし協力隊等が植樹活動等における一翼を担い、併せて地域の魅力等の発信を行う。</p>				KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<p>★①山梨市における観光消費額 (+3,580百万円)</p> <p>②笛吹川フルーツ公園の年間利用者数 (+100千人)</p> <p>③植樹イベント参加者数 (+400人)</p>		

事業概要【葎崎産ワインプロモーション事業】

申請者	山梨県葎崎市				初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	70,540千円 (14,527千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイナリーそれぞれの魅力を、国内はもとより世界に通用する競争力を持った地域ブランドに推進していくため、本市の地方創生の核を担う持続的な地域産業に定着することを目指す。 ・引き続き地域農業の担い手の確保や耕作放棄地の削減、新たな雇用の創設や人口減少対策、市内飲食業との連携によるマリアージュ等、さまざまな分野に対して、相乗効果と好循環を生み出すことを目指す。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 葎崎産ワインの産地化・ブランド化を図るため、ワイナリー設立に向けた取り組みやイベント、啓蒙活動等に必要な業務を行い、地域振興に寄与する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小規模ワイナリー開業予定者サポート事業 ・醸造技術、製造免許を取得するための研修（委託料）296千円 ○果樹新植苗木購入費補助金 ・ワインの原料となるブドウの生産量増大に向け、ブドウの苗木購入に要する経費に対する補助（補助金）1,658千円 ○ワインイベント等開催経費（補助金）4,967千円 ○ワイナリー整備事業費補助金 ・ワイナリーの開業又は事業拡大における施設又は設備整備に対する補助（補助金）5,000千円 ○ワイン原料用ぶどう栽培棚等設置事業費補助金 ・醸造用ブドウの生産に必要な栽培棚を新設もしくは、事業拡大を目的に改修する者に対する補助（補助金）2,606千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>ワイナリーPR、販路拡大、イベントの集客増につなげるため、ワイナリー、商工会等で構成する実行委員会を開催し、現状やイベントの報告を踏まえて改善点を明確化し、事業内容に反映する。</p> <p>地域おこし協力隊やぶどう果実部会と連携し、利用者目線でのぶどう生産に関する意見や、ワイナリー開業までの不安等を吸い上げ、事業内容に反映する。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①小規模ワイナリー開業数（+5箇所） ②支援事業を通じた不耕作及びその恐れのある農地の減少面積（+400アール） ③市内における醸造家へと育成する者の発掘及び市外からの呼び込み（+13人） ④小規模ワイナリー開業予定者サポート事業利用者数（+10人）
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【清水港に寄港する海岸客船に向けた観光誘客推進事業】

申請者	山梨県南アルプス市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,360千円 (6,171千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 中部横断自動車道を活用し、清水港に寄港する海外客船の乗船者に対して、魅力あるツアーの提供や積極的な情報発信を進めることにより、外国人観光客や観光消費額の増加を図る。 市内の多くの事業者の参画により、官民連携で受け入れ態勢の強化や機運の醸成を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 清水港に寄港する大型客船からの誘客を実施するために、観光資源の調査及び課題解決を図りつつ、招聘活動やプロモーション活動をはじめ、実証ツアーの実施や研修会を通じた受け入れ体制の強化に取り組み、市のインバウンド施策の推進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄港現場視察調査費（委託料）550千円 観光情報発信（委託料）550千円 実証ツアーの実施（委託料）880千円 研修会の実施（委託料）1,650千円 招聘活動（委託料）1,100千円 プロモーション活動（委託料）550千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>南アルプス市観光協会と共同で地域の観光資源の高付加価値化や事業者間のマッチング、研修会、ワークショップを開催し、連携強化を図る。大学や高等学校と連携し、研究機関の観点から意見を徴収し、事業への反映を行う。</p> <p>地方金融機関と連携し、観光産業に対する意見を聴取するとともに、市まち・ひと・しごと創生審議会にて方針を示す。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①南アルプス市への入込客数（+200,000人） ②清水港に寄港する客船からの来訪者数（+1,000人） ③清水港に寄港する客船乗船者の観光消費総額（+20,000千円） ④「南アルプス市には、観光資源が豊富で誇らしい」と思う市民の評価（+0.06pt）

事業概要【ポストコロナ期の北杜デジタルファンクラブ創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	山梨県北杜市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,490千円 (6,145千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・『ほくとファンクラブ』の組成することで『山梨県北杜市』の認知度の向上を図る。 ・若い世代特に女性に向けた情報発信による若者・女性の関係人口の創出、二拠点居住や定住の促進を図る。 ・情報共有／発信のデジタル基盤整備により、新型コロナウイルス等による活動停滞を回避し継続的活動を可能にする。 ・一過性でない情報発信体制や基盤を作ることで、継続的安定的な魅力発信を可能にする。 			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 市の魅力をSNS等により発信を行うとともに、地域資源を活かしたイベントを開催し、市の認知度の向上による市内への人の流れ、市外への関係人口の増加、市への誇りの醸成を図り、ほくとファンを創出する。</p> <p>【主な経費】</p> <p>○ファンクラブ会員に向けた情報発信基盤構築事業 ファンクラブ会員に向けた情報を発信するSNSを利用するもの。</p> <p>1. SNSランニングコスト（委託料） 713千円</p> <p>○ファンクラブ企画運営管理事業 ファンクラブの管理運営やイベント開催業務を委託するもの。</p> <p>1. ブランディングプロデュース（委託料） 1,650千円 2. ファンクラブ運営管理（委託料） 1,628千円 3. ファンクラブイベント開催（市内1回・市外1回、年2回程度）（委託料） 2,154千円</p>		   	
KPI	<p>①北杜市へのUIターン数（+9組） ②ほくとファンクラブ会員数（+450人） ③地元事業者との連携数（+30事業者） ④ほくとファンクラブ会員のマインドの変化（+90mGAP）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/30024.html</p>	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

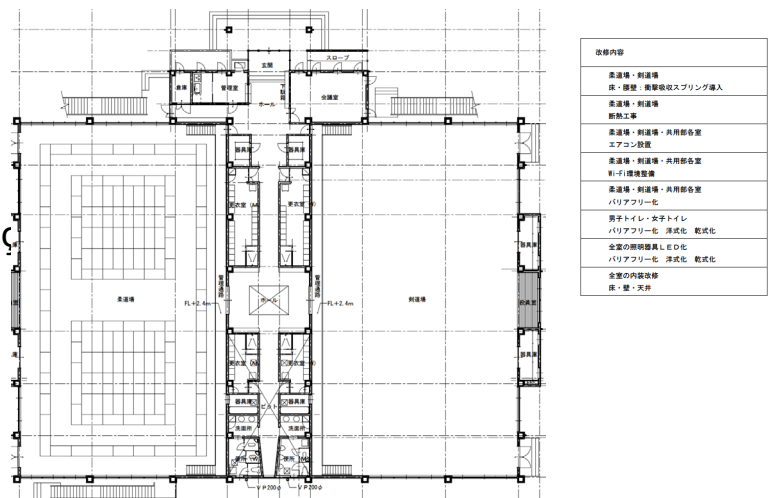
事業概要【白州体育館敷地内サンドグラウンド整備事業】

申請者	山梨県北杜市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	244,246千円 (22,509千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチバレーボールコートを、大規模な公式大会も開催可能な仕様に整備・拡充し、バレーボールやパラスポーツ関連の大会・イベントや合宿等の誘致と、スポーツ・パラスポーツの推進に加えて、近隣に立地する難病・障害者向け施設等と連携した共生社会推進イベントを展開することで、市内外からの当該施設への交流人口の拡大を図る。 ・さらに、従来より本市が取り組む移住定住促進施策と併せて、共生社会関連イベント開催による本市のイメージアップとの相乗効果による定住人口の増加につなげ、市全体の地域再生を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 白州体育館内のビーチバレーボールコートの拡充・魅力化を起点として、スポーツやパラスポーツ関連の大会・合宿・イベントの誘致のみならず、障害者や子育て世代、高齢者や移住者等、多様な主体が参加できるイベントを数多く開催することで、市内への関係人口増加を図る。</p> <p>【拠点整備事業】 日よけ整備 9,614千円 サンドグラウンド敷地内不要物撤去 11,495千円</p> <p>【ソフト事業経費】 地域調整・事業周知関連費用 100千円 スポーツ・パラスポーツ関連備品購入 800千円 既存施設の魅力度向上に向けた設備導入 500千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>市内のスポーツ推進協議会が主力となりつつ、学校や周辺自治体、県などの行政関連機関との連携に加えて、観光協会や金融機関、北杜市ふるさと親善大使などの民間企業の協力も得ながら、スポーツ・パラスポーツの推進や関連する共生イベントの開催や普及啓発の強化を図っていく。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①北杜市の人口 (+215人) ②大会・合宿・研修等利用者数 (+2,150人) ③大会・合宿・研修会の開催 (+54回) ④共生社会関連イベント数 (+700人)</p>

事業概要【赤坂ソフトパークを新たな人流創出拠点とした広場整備及びインフラ再整備事業】


申請者	山梨県甲斐市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	243,160千円 (67,160千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 赤坂台エリアを地域の賑わい創出拠点とするとともに、3大都市圏からの観光客や交流人口の増加、また、地域住民の憩いの場となること目指し、地域経済の活性化と住民生活の質向上を図る。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 本事業は、赤坂台エリアを地域の賑わい創出拠点とするため、赤坂ソフトパーク内市有地の広場整備のほか、老朽化しているインフラ施設の整備のための道路改良工事を行う。 また、隣接する専門学校、市内企業等で構成する協議会を設立するとともに、公園内の集客施設との相乗効果を図りながら、地域活性化事業を実施していく。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活性化プロジェクトのための協議会設立費用 400千円 地域活性化プロジェクトに関する構想策定、事業実施費用 6,000千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤坂ソフトパーク内広場の造成、外構工事 20,760千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜並木の再生と安全安心な歩行空間を確保するための赤坂ソフトパーク1号線道路改良工事 40,000千円 						
地域の多様な主体の参画	市有地内集客施設の事業運営を行う民間事業者のほか隣接する専門学校等とソフト事業（地域活性化プロジェクト）を実施する。 また周辺住民に対するアンケート調査を実施してニーズ調査を行う。					KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	★①観光入込客数 (+153,000人) ②暮らしやすいと感じる市民の割合 (+3%) ③転入者数 (59人)

事業概要【笛吹市スポーツツーリズム拠点整備事業】

申請者	山梨県笛吹市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,107,870千円 (34,570千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、武道館を核とした地域拠点整備とソフト施策を一体的に推進することにより、地域資源の最大活用、官民・多主体連携、そして持続可能な地域経済循環の実現を図る。 具体的には、「武道×教育」「武道×観光」「武道×防災」を基軸に、都市と地方をつなぐ新しい「人材と経済の流れ」を創出し、安心・活力ある地方都市モデルの構築を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 本事業では、「武道文化を軸にしたスマート防災・地域振興拠点の整備」と「アスリート・プロ人材によるソフト施策の展開」を通じ、地域課題の横断的解決と多層的な地方創生を目指す。</p> <p>【拠点整備事業】 市中心部にある武道館（石和清流館）を、「平時は文化・スポーツ・教育の拠点」「災害時は福祉避難所」として、次の機能を整備・強化する。これにより、「集う・守る・支える」を統合したレジリエントな地域拠点への転換を図る。 施設整備 31,570千円</p> <p>【ソフト事業】 本事業は、拠点整備によってリノベーションされた武道館を中核とし、「地域外人材・資源の呼び込み」と「地域経済の循環化」を同時に実現するものである。 ソフト事業 3,000千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>石和温泉旅館協同組合と共同で合宿誘致のためのプラン作成に取り組み、誘致活動を推進する。</p> <p>実際の運営にあたり、ふえふき文化・スポーツ振興財団と協力して武道を中心とした教育・観光；防災の取り組みを行なっていく。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>KPI①交流人口の増加(+1520人) KPI②武道出前授業の実施回数(+25回) KPI③武道出前授業参加児童・生徒数(+750人) KPI④スポーツ合宿の開催数(+10回) KPI⑤地域経済への波及効果(スポーツ合宿) (+5,600千円)</p>

事業概要【上野原市における地域住民主導型子育て・生活共助コミュニティ創造事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県上野原市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	52,536千円 (17,424千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・専用アプリの実装による市民レベルにおける「子育て・生活共助コミュニティ」の形成。 ・子育て世帯の孤立・孤独化を防ぐための子育ての負担を地域全体で共有する体制構築。 ・若年層や元気なシニア世代の活用も含めた暮らしや子育てを共助するコミュニティタウンの創出。 ・働き方の多様化にあわせた、起業や副業、特技を活かしたライフワークや市民活動への参加などの支援の充実。 			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地元人材をコミュニティ形成の担い手として募集・育成し、暮らしや子育てに関する情報共有や相談、サービスを共有できる仕組み「子育て・生活共助コミュニティ」をアナログとデジタルの両輪で構築する。</p> <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティの担い手発掘・育成と地域交流イベント事業 ・地域コミュニティの担い手の発掘・育成・支援（委託料）： 4,620千円 ・地域交流会等の企画、運営、周知PR費用（委託料）： 6,204千円 ○情報共有及び生活・子育て共助を促すアプリ等実装事業 ・専用アプリの運営管理、利活用活性化費用（委託料）： 6,600千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域への転入者の数（+50人） ②地域の担い手の数（+28人） ③交流イベント実施回数（+54回） ④コミュニティアプリ内における共助数（+200件） 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/page/2395.html (効果検証) 令和7年10月公表予定</p>	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【奈良田温泉女帝の湯整備を核とした早川町観光振興事業】

申請者	山梨県早川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	128,588千円 (119,126千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 町内の観光拠点である奈良田女帝の湯をリニューアルし、町独自のアニメーションを活用した積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 地域の活性化及び若者に選ばれる地域を構築し、労働人口の7割以上を占める3次産業従事者の移住及び所得向上を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 根強い人気の奈良田の里温泉は、昔ながらの建物のため冬の防寒対策が必須であり、その他、厨房の動線整備、電気設備の改修、浴室の断熱工事等を実施する。同時に、源泉の低温対策として、取水ポンプの改修を行い、湯の温度を上げ、寒い時期の対策を実施する。 また、早川町独自に作成するアニメーション「もののけのムスメ」を利用しPR促進グッズを作成やSNS発信を行い、漫画コンテンツによる観光客を増やす。</p> <p>【主な経費】 ○奈良田女帝の湯施設整備 110,012千円 ○奈良田女帝の湯源泉井戸ポンプ設置工事 6,260千円 ○早川町キャラプロジェクト事業（委託）2,854千円</p>					   	
地域の多様な 主体の参画	早川町内の小中学生の様々な意見を集約し、早川町教育委員会、観光担当、事業者と協議を行い、事業内容へ反映させていく。各区民から出た施設の意見、提言を、区長会の管轄である総務課、観光担当、事業者と協議を行い、事業内容へ反映させていく。					KPI	①観光入り込み客数 (+21,000人) ②奈良田女帝の湯 年間来場者数 (+3,000人) ③奈良田女帝の湯年間売り上げ (+3,000千円) ④公式チャンネルフォロワー数 (+480人)


※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【小菅村でつながる「1/1村民と1/2村民が育む交流と創造の拠点」整備事業】

申請者	山梨県小菅村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	269,993千円 (269,993千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 まちづくり
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・村民と分数村民の交流促進や地域活性化を目的とし、宿泊施設やカフェ、多目的スペース、コインランドリーを整備。 ・滞在拠点の整備や交流イベントの開催、住民参加型の仕組みづくりを通じて、地域の課題を解消。 ・分数村民の滞在促進と交流を通じた地域づくり、生活課題の解決による住民の利便性向上。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 分数村民と地域住民の交流と滞在を促進し、地域活性化を図ることを目的としています。村が所有する廃旅館を改修し、以下の機能を備えた拠点施設として整備します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宿泊機能 個人や小グループ向け客室を設置し、分数村民や観光客の受け入れを通じて関係人口の拡大と地域経済の活性化を目指します。 2. カフェ・ラウンジ 宿泊者と地域住民が利用できる飲食スペースを設け、日常的な交流や情報交換を促します。 3. 多目的スペース イベントやワーキング、地元特産品の展示・体験など、多様な活動に対応する場を提供します。 4. コインランドリー 滞在者向けの洗濯設備を整備し、カフェと連携して交流と情報発信の機会を創出します。 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃業した旅館（かどや旅館）の改築・減築 ・改築工事 214,145千円 ・設備整備 48,478千円 ・機器購入費用 7,370千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>小菅村が全体調整を担い、住民や事業者、関係団体と連携して交流機会を創出します。</p> <p>施設の運営は指定管理者が行い、利用促進と地域交流を目的としたイベント等を実施し、四半期ごとの報告会を通じて改善に取り組みます。連携大学は学生の滞在や学びの場として施設を活用し、学生の発想による交流事業の企画・実施を行い、意見交換を通じて継続的な改善を図ります。さらに、自治会が地域住民の意見を集約し、施設運営やイベント内容に反映させることで、地域全体での参画と事業の質向上を目指します。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①人口増加数（0人） ※自然減による人口減に歯止め。</p> <p>②年間利用者（+89,000人）</p> <p>③源流資源の維持・保全に係る事業の参加人数 （+2400人）</p> <p>④源流産業に関連した仕事をする人の数（延人数） （+20人）</p>

事業概要【SDGsをテーマにした源流の村ブランディングプロジェクト】

旧制度（推進）


申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,700千円（8,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	SDGs活動を推進している丹波山村と協業することで企業価値を高められることをPRし、村外企業との連携を強めていく。こうした企業の需要を上手く取り込みながら、企業版ふるさと納税の受け入れなどを行い、村の自主財源確保も目指す。		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「関東で一番小さな過疎の村が、東京都民の水源を守る循環型社会を実現」をテーマに、村のブランディングおよびPRを行うとともに、SDGsを推進する人材を育成する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産品を活用したレシピ開発とSNSを使った広報費（委託料）2,000千円 ・SDGsを推進する人材の研修費用（負担金）600千円 ・体験型イベント調査研究費（委託料）1,200千円 ・イベント運営費（委託料）1,500千円 ・村民向けSDGsセミナーの運営費（委託料）1,000千円 ・コミュニティ拠点の運営（委託料）1,200千円 		
KPI	<p>①SDGsをテーマに開発したプログラムの数（+16件）</p> <p>②SDGsをテーマにしたイベントの開催回数（+15回）</p> <p>③SDGsをテーマにしたイベントの来場者数（+300人）</p> <p>④プログラムを遂行する人材の育成（+3人）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【空き家の利活用を通じた地域コーディネーターによる関係人口の創出事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,834千円（6,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地域コーディネーターを中心として、村内で体験可能な自然体験等を通し、関係人口の創出を目指す。また、関係人口の創出により、地域への二拠点居住者・移住者の受け入れに繋げていき、受け皿となる空き家の利活用を同時に進めていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 育成した地域コーディネーターを中心に企業や大学等にとって需要のある村の基本データ等を集積し提供することで、研修等の受け入れを積極的に進めていく。</p> <p>【主な経費】 ○空き家活用協議会運営業務（委託料）1,000千円 ○関係人口創出のためのイベント運営業務（委託料）1,000千円 ○空き家情報のGIS集約業務（委託料）2,000千円 ○空き家の利活用を目的とした体験型イベントの開催業務（委託料）2,000千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①空き家バンク登録物件数（+28件） ②空き家の利活用件数（+14件） ③関係人口創出のためのイベント参加者数（延べ人数）（+850人） ④当事業での利活用が可能になった空き家への移住者数（延べ人数）（+22人）</p>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html （効果検証） https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html</p>

事業概要【丹波山村 暮らしと観光のDX推進事業】

旧制度（推進）

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	128,680千円 (66,070千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	人口減少を食い止めるため、地域産業の生産性向上、地域収益の最大化、暮らしの利便性向上が求められており、これらをデジタルシフトすることで実現していく。観光を主要産業とする本村としては、【暮らしDX】【観光DX】の2つをテーマとして実施していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 デジタル人材を活用し、地域の情報発信とマーケティングを高度化し、雇用と観光客数を増加させる。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタル人材の人件費 <ul style="list-style-type: none"> ・推進人件費（委託料） 12,000千円 ・サポート人材費（委託料） 1,080千円 ・研修等費用（委託料） 3,000千円 ○デジタルセンターによる観光地経営の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルセンター設置費用（委託料） 1,150千円 ・システム構築費用（委託料） 30,000千円 ○デジタルセンターの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域へのキャンペーン費用（委託料） 5,920千円 ・プロモーション経費（委託料） 10,000千円 		<pre> graph TD DV[丹波山村] --- 連携 --- DDC[丹波山村デジタルセンター(仮称)] DDC --- 効果的な情報発信 --- TK[観光客] DDC --- DXによる経営支援 --- DS[地域事業者] </pre>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①当事業による地域における新規雇用者数（+7人） ②住民へのデジタル活用サポート網羅率（+100%） ③丹波山村デジタルセンターシステムの地域事業者導入率（+70%） ④観光経営の高度化の実現による観光来村者の増加数（+25,000人） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html （効果検証） https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html</p>

事業概要【子ども・若者の人材還流創出と関係人口DXを起点とした持続可能な地域経営モデル構築事業】

申請者	山梨県丹波山村				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	176,100千円 (71,000千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 若者および子どもの人口の還流のため、教育コンテンツと受け入れ制度の開発・運営を行う。 関係人口の地域経営への参画のため、受け入れ制度の構築とWEB3を活用した受け入れ制度を行う。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 デジタル実装を前提とし、子どもや若者の人材流入を強化しながらも、良質な関係人口を増やし育てていくことで、若者人口の一時滞在者増加による地域内の活力向上と滞在経験者の中から本移住へ繋がる人の増加、または関係人口を地域経営に参画させていくことで、地域内の経営資源のみに頼らない仕組みを構築し、持続可能な地域へと成長していくことを目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育の魅力化事業 ・プロジェクト立ち上げに関する調査業務（委託料）8,800千円 ○地域留学制度の構築 ・制度運営に関する事務局経費（委託料）15,100千円 ○丹波山村オフィシャルアンバサダー制度の構築・運営 ・企画設計業務経費（委託料）13,300千円 ○丹波山村DAOの構築と実証運用 ・DAOアプリケーションの導入（委託料）15,000千円 ・DAO運営事務局経費（委託料）8,800千円 ○デジタルコンテンツ等構築費 ・デジタルツール・コンテンツ構築業務経費 10,000千円 				<p>大人の地域留学制度【丹波山村編】スキーム図</p> <p>若者の声を地域経営に取り入れる、という地域の意志が大事</p> <p><運営団体の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報集客 ・採用選考 ・受入れ伴走 <p><来島までのイメージ></p> <ol style="list-style-type: none"> ①募集開始 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS ・Webサイト ・募集媒体等 ②採用面接 <ul style="list-style-type: none"> ・運営団体が実施 ③合格通知 ④マッチング <ul style="list-style-type: none"> ・コース選択 ・事業所との面談 ⑤地域留学スタート 		
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>設立予定の第3セクター法人が事業の中核となり、地域に若者を一時的に受け入れながら、地域内の滞在人口を増加させる。また、関係人口を地域経営に取り込むような仕掛けづくりをしながら、持続可能な地域づくりを目指す。産官学金労言による助言や検証を受けながら事業を進める予定である。</p>				KPI	<p>①地域留学制度の活用のうち次年度以降の本移住に繋がった人数（+7人）</p> <p>②地域留学制度の活用数（+24人）</p> <p>③丹波山村オフィシャルアンバサダーの登録人数（+150人）</p> <p>④丹波山村 山村留学生の人数（+10件）</p>	
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		